

令和 2 年度実績に関する施策・基本事業評価表（兼 主要な施策の成果報告書補足資料）

基本目標No.	3	基本目標名	健やかで笑顔あふれるまち						
施策 No.	24	施策名	健康づくりの推進						
主管課名	健康センター								
関係課名	市民課、社会福祉課、環境安全課、地域協働課								
施策が目指す すがた	<ul style="list-style-type: none"> 健康意識が高まり、市民一人ひとりが主体的に健康づくりに取り組んでいます。 心身ともに健康である市民が増加しています。 								
施策の成果向上に向けての 住民と行政との 役割分担や地域等への期待 など	市民 ・ 事業所	<ul style="list-style-type: none"> 定期的に健康診査やがん検診等を受けます。 食生活の見直しや自らできる運動習慣を身につけるなど健康づくりに努めます。 事業所においては、健康診断の実施や労働環境の整備、メンタルヘルス対策に努めます。 							
	行政	<ul style="list-style-type: none"> 健康づくりに関する情報提供に努めます。 各種健診体制を充実するとともに、がん検診や健康診査、人間ドック等の助成を行ないます。 健康づくりに関する教室や健康相談会を実施し、生活習慣病・疾病予防対策を推進します。 健康づくりに関する組織活動を支援します。 							
	その他 (地域)	<ul style="list-style-type: none"> 歩こう会や料理教室、スポーツイベントなどを実施し、地域ぐるみで健康づくりに取り組みます。 身近な地域で介護予防や認知症予防に取り組みます。 							
施策を実行する うえで基本となる 事業	基本事業①	健康意識の高揚							
	基本事業②	健康診査体制の充実							
	基本事業③	予防対策の推進							
	基本事業④								
施策の トータルコスト	区 分		単位	27年度実績	28年度実績	29年度実績	30年度実績	元年度実績	2年度実績
	A. 本施策を構成する事務事業の数		本	15 (15)	20 (15)	19 (14)	19 (14)	20 (14)	24 (18)
	基本事業①を構成する事務事業の数(うち自治事務数)		本	3 (3)	3 (3)	3 (3)	3 (3)	3 (3)	3 (3)
	基本事業②を構成する事務事業の数(うち自治事務数)		本	2 (2)	4 (3)	4 (3)	4 (3)	4 (3)	6 (5)
	基本事業③を構成する事務事業の数(うち自治事務数)		本	10 (10)	13 (9)	12 (8)	12 (8)	13 (8)	15 (10)
	基本事業④を構成する事務事業の数(うち自治事務数)		本						
	B. 事業費（事務事業の事業費合計）		千円	239,132	244,692	246,413	255,481	247,381	281,279
	基本事業①を構成する事務事業の決算額小計		千円	7,637	6,557	6,580	8,509	8,219	8,008
	基本事業②を構成する事務事業の決算額小計		千円	119,010	115,609	111,098	113,250	111,764	109,562
	基本事業③を構成する事務事業の決算額小計		千円	112,485	122,526	128,735	133,722	127,398	163,709
	基本事業④を構成する事務事業の決算額小計		千円						
C. 施策に携わる正規職員数合計		人	71	56	62	62	65	80	
D. 事務事業に要する年間総時間		時間	16,340	14,340	15,920	16,050	17,270	18,960	
E. 人件費（D×1時間あたりの平均人件費）		千円	68,318	58,952	64,110	64,393	75,194	84,031	
F. トータルコスト（B+E）		千円	307,450	303,644	310,523	319,874	322,575	365,310	
効 率 性 指 標	市民1人あたりにおける施策の G. 事業費（定義式：B/人口）		円	5,542	5,730	5,820	6,064	5,936	6,823
	同 上		円	1,583	1,380	1,514	1,528	1,804	2,038
	H. 人件費（定義式：E/人口）		円	1,583	1,380	1,514	1,528	1,804	2,038
	同 上		円	7,125	7,110	7,334	7,592	7,741	8,862
	I. トータルコスト（定義式：F/人口）		円	7,125	7,110	7,334	7,592	7,741	8,862
参 考	1時間あたりの平均人件費		円	4,181	4,111	4,027	4,012	4,354	4,432
	魚津市の人口(各年度12月末時点)		人	43,152	42,706	42,340	42,132	41,672	41,224

基本事業概要シート①

施策 No.	24	施策名	健康づくりの推進
基本事業名	①健康意識の高揚		
基本事業の目的(意図)	生活習慣の行動変容ができることにより、市民一人ひとりの健康の保持増進が図られます。		
令和2年度における 主な事業内容(活動内容)	<p>【地域自殺対策事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・街頭キャンペーンでは新型コロナウイルス感染症の影響を考慮し中止しました。 ・ゲートキーパー養成研修会を2回開催しました。また、関係者によるネットワーク会議を1回開催しました。 ・図書館やショッピングセンターで自殺予防に関する展示や啓発グッズの配布など行い、普及啓発に取り組みました。 <p>【健康づくり推進事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生活習慣病予防を中心とした健康づくりイベント教室を計 4 回開催し、合計119 人の参加がありました。また、食生活改善推進員の養成と育成に努めました。 ・健康づくりの啓発として、昨年に引き続きミラたん健康ポイント事業を実施し、参加者は 774人 でした。 ・関係課が協力して「国保保健事業」を実施しました。 ・健康意識の高揚を目的として、「健康づくりがんばり隊」事業を開始したところ 15 団体（前年:16団体）の登録があり、健康づくりに取り組まれています。 ・「健康づくり推進プロジェクト 健康うおづ プラス 1(ワン)」により、“食” “運動” “健診”を柱とした取り組みを強化しました。“食”に関しては、UO! VEGEキャンペーンを実施して野菜を食事といれるための普及に努めました。“運動”に関しては、ウォーキングマップを活用したイベントを11地区で開催しました。 		

成果指標名	単位	実績値			目標値(上段)及び実績値(下段)				
		H22年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R元年度	R02年度 (最終目標年度)
健康教室参加者数	人	4,598	3,136	2,882	3,000 3,517	3,500 3,681	4,000 3,311	4,500 3,296	5,000 1,271
健康だと感じている市民の割合 (健康増進プランより H22、H26、H32実施予定)	%	72.9	72.1	—	— —	— —	— —	— —	80.0 78.2
健康だと感じている市民の割合 (まちづくり市民意識調査より)	%	56.3	58.6	58.4	60.0 56.3	63.0 63.9	65.0 66.0	65.0 57.0	65.0 61.5

基本事業を構成する事務事業の実績(○:評価対象事業(総合計画の主な事業など) -:評価対象外事業)

No.	会計名	事務事業名	令和2年度				担当課
			予算現額(円)	決算額(円)	予算残額(円)	1次評価結果	
1	一般会計	○ 地域自殺対策事業	186,000	129,651	56,349	B	社会福祉課
2	一般会計	健康センター運営事業	7,420,000	6,970,392	449,608	-	健康センター
3	一般会計	○ 健康づくり推進事業	2,058,000	908,387	1,149,613	A	健康センター
4					0		
5					0		
6					0		
7					0		
8					0		
9					0		
10					0		
11					0		
12					0		
13					0		
14					0		
15					0		
16					0		
17					0		
18					0		
19					0		
20					0		
21					0		
22					0		
23					0		
24					0		
25					0		
26					0		
27					0		
28					0		
29					0		
30					0		
合計			9,664,000	8,008,430	1,655,570		

基本事業概要シート②

施策 No.	24	施策名	健康づくりの推進
基本事業名	②健康診査体制の充実		
基本事業の目的(意図)	定期的に健康診査を受けることにより、生活習慣病やがん、その他の病気の早期発見をすることができます。		
令和2年度における 主な事業内容(活動内容)	<p>【特定健康診査事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> 生活習慣病の予防、早期発見のために特定健康診査を実施しました。また、未受診の方には、はがきによる案内や、民間事業者へ依頼して電話による受診勧奨を行いました。 健診結果から指導が必要と判定された方に特定保健指導を行いました。 30～39歳の方に「スマホdeドック」事業を実施しました。(検査数 43件) 新型コロナウイルスの感染リスクがある中、特定健診未受診者を対象に「スマホdeドック」事業を実施しました。(検査数 75件) <p>【健康診査事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> 生活保護受給者の健康診査、肝炎ウイルス検診、歯周疾患検診を実施しました。 <p>【がん対策事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> 保健衛生推進員によるがん検診普及啓発を、ショッピングセンター等での街頭キャンペーンや地域のイベントで、計30回実施しました。 他の健康診査とがん検診の同時実施やがん検診時の託児、節目年齢の方に対する自己負担軽減を行いました。 令和2年度のがん検診受診率は 胃がん 18.4%、大腸がん 20.9%、肺がん 24.2 % 乳がん 21.4%、子宮がん 21.2 % でした。 モデル事業として、25歳～43歳を対象に、子宮頸がん検診に併せてHPV検査を併用しました。(HPV検査受診者 325人) 特定健康診査の実施にあわせて、50～74歳の男性の希望者に前立腺がん検診(PSA検査)を実施しました。(受診率 30.1%) 		

成果指標名	単位	実績値			目標値(上段)及び実績値(下段)				
		H22年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R元年度	R02年度 (最終目標年度)
胃がん検診受診率	%	20.4	22.6	24.3	30.0 23.3	33.0 22.2	35.0 24.6	38.0 24.5	40.0 18.4
大腸がん検診受診率	%	21.8	22.4	24.9	30.0 27.9	33.0 25.2	35.0 26.6	38.0 26.8	40.0 20.9
特定健康診査受診率(国保)	%	38.9	39.9	41.6	45.0 41.8	50.0 44.0	44.0 44.0	46.0 45.4	60.0 10月頃

基本事業を構成する事務事業の実績(○:評価対象事業(総合計画の主な事業など) -:評価対象外事業)

No.	会計名	事務事業名	令和2年度				担当課
			予算現額(円)	決算額(円)	予算残額(円)	1次評価結果	
1	一般会計	○ 健康診査事業	1,506,000	1,189,359	316,641	A	健康センター
2	一般会計	○ がん対策事業	72,143,700	49,706,420	22,437,280	B	健康センター
3	一般会計	○ 次世代を担う女性の健康づくり事業	3,153,300	3,072,171	81,129	B	健康センター
4	国民健康保険事業特別会計	○ 特定健康診査等事業費	59,024,000	53,444,813	5,579,187	B	健康センター
5	一般会計	子宮頸がん検診HPV検査モデル事業	3,190,485	1,881,728	1,308,757	-	健康センター
6	一般会計	がん患者補正具購入費用助成事業	268,000	268,000	0	-	健康センター
7					0		
8					0		
9					0		
10					0		
11					0		
12					0		
13					0		
14					0		
15					0		
16					0		
17					0		
18					0		
19					0		
20					0		
21					0		
22					0		
23					0		
24					0		
25					0		
26					0		
27					0		
28					0		
29					0		
30					0		
合計			139,285,485	109,562,491	29,722,994		

基本事業概要シート③

施策 No.	24	施策名	健康づくりの推進
基本事業名	③予防対策の推進		
基本事業の目的(意図)	生涯にわたり健康な生活を送ることができます。		
令和2年度における 主な事業内容(活動内容)	<p>【保健衛生普及事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・医療費通知(年7回)やジェネリック医薬品に置き換えた場合の差額通知(年4回)を送付し、適正な受診意識の啓発を行いました。また、国保健康教室を希望者 延べ21名を対象に24回にわたり開催しました。 <p>【介護予防普及啓発事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・65歳以上の高齢者を対象として、広報やパンフレットを活用した介護予防に関する普及啓発や住民主体で行われる「ふれあい・いきいきサロン」などの地域における介護予防活動を 88ヶ所で行い、延べ参加者は 13,948人でした。また、通所型の介護予防教室を104回開催しました。さらに、住民の自主的活動である「いきいき百歳体操」の普及を支援しました。 <p>【予防接種事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・乳幼児の予防接種では、定期接種(A類疾病)を行いました。 ・高齢者の予防接種では、高齢者肺炎球菌ワクチン、インフルエンザワクチン接種を定期接種(B類)として実施しました。 ・昭和37年4月2日～昭和54年4月1日生まれの男性に対して、風しん抗体検査を実施し抗体価が低いと判断された場合に定期接種(A類疾病)を実施する事業を3年間で実施することが示され2年目として事業を実施しました。 <p>対象者(昭和47年4月2日～昭和54年4月1日生まれ) 2,869人 抗体検査実施 992人 予防接種実施 209人</p> <p>【介護予防・生活支援サービス事業】(再掲)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・要支援1・2及び事業対象者に対して、生活機能の低下を予防するための介護予防マネジメントを実施し、適切なサービスを提供しました。 		

成果指標名	単位	実績値			目標値(上段)及び実績値(下段)				
		H22年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R元年度	R02年度 (最終目標年度)
健康寿命 男性	歳	76.2	75.4	75.5	76.2 75.9	76.2 76.0	76.2 76.6	76.2 R3 算出	76.2 R4算出
健康寿命 女性	歳	80.8	80.4	80.1	80.8 80.3	80.8 80.5	80.8 80.8	80.8 R3 算出	80.8 R4算出

基本事業を構成する事務事業の実績(○:評価対象事業(総合計画の主な事業など) -:評価対象外事業)

No.	会計名	事務事業名	令和2年度				担当課
			予算現額(円)	決算額(円)	予算残額(円)	1次評価結果	
1	国民健康保険事業特別会計	○ 保健衛生普及事業	7,831,000	6,287,845	1,543,155	A	市民課
2	介護保険事業特別会計	○ 介護予防普及啓発事業	16,020,000	13,228,700	2,791,300	A	社会福祉課
3	介護サービス事業特別会計	○ 介護予防把握事業	13,939,000	12,529,337	1,409,663	B	社会福祉課
4	介護保険事業特別会計	フレイル予防推進事業	813,500	105,400	708,100	-	社会福祉課
5	一般会計	狂犬病予防対策事業	602,000	495,658	106,342	-	生活環境課
6	一般会計	公衆浴場衛生設備改善補助事業	1,599,000	1,599,000	0	-	生活環境課
7	一般会計	○ 衛生害虫駆除事業	126,000	27,500	98,500	C	生活環境課
8	一般会計	○ 感染症予防対策事業	7,046,000	4,066,787	2,979,213	B	健康センター
9	一般会計	○ 高齢者予防接種事業	44,434,082	41,506,740	2,927,342	B	健康センター
10	予算なし	訪問・通所予防事業	0	0	0	-	健康センター
11	一般会計	○ 乳幼児予防接種事業	75,850,700	61,496,570	14,354,130	B	健康センター
12	一般会計	○ 風しん追加的対策事業	9,462,940	7,912,574	1,550,366	B	健康センター
13	国民健康保険事業特別会計	○ 疾病予防費	8,596,000	5,895,936	2,700,064	A	健康センター
14	一般会計	PCR検査費用助成事業	4,027,000	80,000	3,947,000	-	健康センター
15	一般会計	新型コロナウイルスワクチン接種事業	50,000,000	8,477,241	41,522,759	-	健康センター
16					0		
17					0		
18					0		
19					0		
20					0		
21					0		
22					0		
23					0		
24					0		
25					0		
26					0		
27					0		
28					0		
29					0		
30					0		
合計			240,347,222	163,709,288	76,637,934		

施策 No.	24	施策名	健康づくりの推進
令和2年度の評価結果(基本事業の成果を考慮し記載)	1. 施策(基本事業)の成果水準とその背景 (成果水準が、ここ数年の間どのように推移しているか、近隣他市と比較してどうか、住民期待水準と比較してどうかなどを記述)		
	<p>【①健康意識の高揚】</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆新型コロナウイルス感染症の影響で、健康教室を中止したこともあり、令和2年度の健康教室参加者は、大きく減少しています。 ◆市民意識調査において、健康だと感じている市民の割合は、R2年度 61.5% (前年度 57%)とやや増加傾向にあります。 ◆第4次総合計画の指標である「健康だと感じている市民の割合(健康増進プランのアンケート)」では、最終年度の目標値80.0%に届かなかったのですが、H22 72.9%から R2 78.2%と増加傾向が見られています。 ◆市民意識調査において、週1回以上の頻度で運動(体操、散歩等を含む)している割合は、R2年度 48.1%となり、前年度49.6%若干の減少が見られます。 ◆健康づくりの意識を高めるため「ミラたん健康ポイント事業」を継続して実施しました。参加者は R2年度 774人(前年度:802人)となっています。 ◆「健康づくりがんばり隊事業」を継続、各種団体及び企業15団体が登録し、健康づくり宣言を行い健康づくりに熱心に取り組まれました。 <p>【②健康診査体制の充実】</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆R2年度のがん検診の受診率は、胃がん 18.4%(前年度24.5%)、大腸がん 20.9%(前年度26.8%)、乳がん 21.4%(前年度29.3%)、子宮がん 21.2%(前年度27.5%)であり、昨年と比較して、大きく減少しています。 ◆保健衛生推進員(参加:延べ96名)による、がん検診普及啓発活動を、継続して実施しました。(会場:ショッピングセンター、地域等) ◆令和2年度の特健康診査受診率は、41.5%(速報値)であり、昨年(45.4%)を若干下回る状況です。 ◆30~39歳の方に「スマホdeドック」事業を実施しました。(検査数 43件) ◆新型コロナウイルスの感染リスクがある中、特定健診未受診者を対象に「スマホdeドック」事業を実施しました。(検査数 75件) <p>【③予防対策の推進】</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆市独自で算出する健康寿命については、男女とも延伸している傾向が見られます。 ◆要介護度別人数の分布状況では、要支援1~要介護5のうち、要介護1~5認定者数が平成29年度74.0%だったものが、R2年度末で71.3%と2.7ポイント減少しています。県全体では0.7ポイントの減少であり、数年の間では健診や介護予防事業の対策等が有効に機能しているものと考えられます。 ◆風しん抗体検査に関する事業では、R2年度の抗体検査の実施率 34.6%です。 		
	2. 施策の成果実績に結びついている主な取り組み(事務事業)の総括 (令和2年度において、施策及び基本事業の成果向上に貢献した主な事務事業の取り組み内容を中心に記述)		
<p>【①健康意識の高揚】</p> <p><健康づくり推進事業></p> <ul style="list-style-type: none"> ◆健康づくりの意識を高めるため、個人の健康づくりのインセンティブとして、「ミラたん健康ポイント事業」を、平成24年度より継続しています。参加者からは、「健康づくりの励みになる」などの意見をいただいております。参加者も年々増加傾向です。 ◆企業や各種団体等の健康意識の高まりを促す「健康づくりがんばり隊事業」を継続しました。 ◆「健康づくり推進プロジェクト 健康うおつ プラス 1(ワン)」により、「食」「運動」「健診」を柱とした取り組みを強化しました。「食」に関しては、UO! VEGEキャンペーンを実施して野菜を食事とり入れるための普及に努めました。「運動」に関しては、ウォーキングマップを活用したイベントを11地区で開催しました。 <p>【②健康診査体制の充実】</p> <p><がん対策事業></p> <ul style="list-style-type: none"> ◆がん検診受診率向上を目的として、効果的なパンフレットを活用した受診勧奨、節目年齢の方への検診自己負担金軽減、特定健康診査とがん検診の同時実施、休日検診の設定やがん検診時の託児を行いました。 ◆モデル事業として、25歳~43歳を対象に、子宮頸がん検診に併せてHPV検査を併用実施しました。(HPV検査受診者 325人) <p><特定健康診査等事業費></p> <ul style="list-style-type: none"> ◆特定健診の受診率向上のために、未受診者へはがきの送付や電話による受診勧奨に併せて、受診者に対するありそードムの無料利用特典、健診データ提供に対する特典など、工夫を行いました。 ◆新型コロナウイルスの感染リスクがある中、特定健診未受診者を対象に「スマホdeドック」事業を実施し、健康への意識付けを行いました。 <p>【③予防対策の推進】</p> <p><予防接種事業></p> <ul style="list-style-type: none"> ◆接種忘れの無いように、保護者の意識を促す取り組み等により、こどもの予防接種率の向上に努めました。 <p><介護予防普及啓発事業></p> <ul style="list-style-type: none"> ◆「ふれあいいきいきサロン」や「いきいき百歳体操」等の地域に密着した介護予防の取り組みにより、要介護にならないよう努める高齢者の意識の高まりが見られています。(アンケート結果による) 			
3. 施策の課題認識及び取り組み状況 (前年度末で残った課題、既に現年度で取り組んでいること、又は取り組むこととしている予定を記述)			
<p>【①健康意識の高揚】</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆令和2年度に実施した「第2次健康増進プラン」の中間評価に基づき、健康づくりの推進を図ります。 ◆平成30年度までは増加傾向にあった、「健康だと感じている割合」が減少しています。継続的な意識調査により状況を注視するとともに、健康意識の高揚は大切な課題であることから、「ミラたん健康ポイント事業」などを契機に、健康づくりの意識を高める取組みを積極的に実施していきます。 <p>【②健康診査体制の充実】</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆がん検診、特定健康診査の受診率向上を目的とした取組みを継続的に実施していきます。また、新型コロナウイルス感染症を踏まえた受診体制についても検討していきます。 ◆子宮頸がん検診に併用して実施したHPV検査を令和3年度も実施し、実績を基に今後の検診体制を検討します。 ◆検診により「要精密検診の対象」となった方が100%受診されるよう受診勧奨に努めます。 ◆30歳代と40歳から64歳の「特定健康診査」未受診者を対象に「スマホdeドック」事業を継続し、生活習慣病の予防を図ります。 <p>【③予防対策の推進】</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆生活習慣病予防として、高血圧や糖尿病の発症予防と重症化予防対策に取り組めます。また、魚津市医師会や富山労災病院、関係機関と連携を図りながら、各種教室や相談、訪問指導等を継続して実施していきます。 ◆要介護度1~5について、要介護度別分布を前年度と比較したところほぼ横ばいですが、重度となる要介護度3~5については、0.2ポイント減少しています。今後も詳細に分析し介護予防事業の取り組みに生かしていきます。 ◆令和3年度から、健康センターにおいて高齢者の保健事業と介護予防の一体的な取組を実施していきます。 ◆新型コロナワクチン接種の実施に向けて、集団接種会場開設に伴う体制整備(コールセンター開設、必要物品の確保等)、接種券の印刷、接種についての説明会、関係機関と調整等を行い、円滑な接種に努めます。 ◆高齢者のフレイル予防対策を推進するため、令和3年度中にフレイル予防総合推進事業をモデル的に実施する予定です。 			